



津山の人・物・技術
など、明日誰かに自慢
したくなる津山のいい
ところを紹介します

28
つやまじまん

ええとこ
いっぱい

津山 自慢

津山市地域おこし協力隊
三谷 耕平さん (高野本郷)

大阪府吹田市出身。運送会社で農産物を市場からスーパーなどに配送する業務に長く携わる。業務の中で産地直送の野菜に触れた経験を機に、以前から興味があった農業の門をたたき、令和4年4月から津山市地域おこし協力隊として、農事組合法人アグリ堀坂で活動中。52歳。

子どもの頃から知る町での挑戦

勤めていた運送会社で、取引先が希望する産地直送の野菜を卸すため、近畿一円の農産物の産地を見て回りました。人が作ったものを見ることから、自分で作ることに興味を持つようになりました。

親戚がブドウなどを育てる農家で、以前から興味があった農業。子どもも独立する中、これからの人生について考えていたこともあり、農業の道を選びました。

親戚の紹介で、鳥取でブドウの収穫を手伝う中、地域おこし協力隊で活動中の人と出会いました。働きながら勉強できる協力隊の活動に引かれ、農業分野での募集を探しました。美咲町に親戚がいて、子どもの頃から知っていた津山市での募集に迷わず応募しました。

想像との違いでくじけそうに
農業というもののんびりしたイメージでした。現実には、待つてくれない自然との闘いの中、慣れない作業に追われ、手探りで失敗も多く活動を続けることができないのではと、くじけそうになることもありました。

前職の経験から得意な荷物運搬用リフトの操作で、皆さんに頼りにしてもらえた時は、自分が役に

立てた気がしてうれしかったです。厳しいながらも、1人前になるよう育ててもらっていることに感謝し、勉強していきたいです。

堀坂といえばと言われるように

市内で会った若い世代の人が「堀坂」と聞いてもどこか分からなかったことがショックでした。

堀坂地域では、ブロッコリーの生産に力を入れていて、岡山県内で一番の産地を目指しています。「ブロッコリーといえれば堀坂」といわれるように頑張りたいです。

また、加茂地域の加工場を活用して、巻き柿の復活を考えるなど新しい試みも始まっています。個人の目標としては、新たに任せてもらったブドウ棚で、生食用だけでなく加工用のブドウを育てるなど、新しいジャンルに挑戦したいです。

農業に触れ、周りの人と支え合うことの大切さが身に染みています。地域の皆さんと協力しながら「堀坂で面白いことをしている」と地域を知らない人がやって来る環境を作っていきたいです。

いろいろな人とつながりたい
作州城東朝市などで野菜を販売していることもあるので、見掛けたら気軽に声を掛けてください。



華やかな桜の季節がやってきました。我が家の近くの川沿いには、長い桜並木があります。菜の花も楽しむことができ、散歩やサイクリングにぴったり！桜並木の端から端まで、自転車で走り抜きたい、お気に入りの場所です。皆さんも、桜の名所のほかに、自分だけの桜スポットを見つけてみませんか。(☆)

取材先で笑顔の素敵なお人に出会えると、うれしくなって、つい撮り過ぎてしまいます。今月の津山自慢の三谷さんもその一人。何かの機会が使わないと、もったいない写真がたくさん撮れました。マスクの着用の仕方が見直されることになった春。これからどんな笑顔に出会えるか、楽しみで仕方ありません。(♡)

西東三鬼賞30周年記念「夏井いつき句会ライブ」を取材しました。夏井さんが俳句作りのコツを教えながら、出演するテレビ番組の話、参加者が作った俳句への率直な感想など、最後まで楽しむことができました。五七五、季語などの決まり事で、言葉の奥深さを伝える俳句の魅力に引かれた1日でした。(三)

☎ 0868-32-2029
☎ 0868-32-2152
✉ kouhou@city.tsu.yamaguchi.jp

生紙・植物性インキを使用しています。読者のためです。

広報津山
電子版



津山市公式
フェイスブック



津山市公式
LINE



津山市公式
インスタグラム

